

- 松山市では、手入れが行き届いていない人工林への対応として、森林経営管理制度に基づく取組を進めている。
- 令和5年度は、以下の取組を実施した。
 - ・ 3市1町で設立した中予森林管理推進センターと連携して、市内の私有林530haの意向調査を行うとともに、令和4年度までの意向調査で市に預けたいと回答のあった森林のうち356haを現地踏査し、整備が必要な森林に集積した。
 - ・ 森林の持つ多面的機能をより高度に発揮させるため、手入れされていないスギやヒノキの人工林約43haの間伐を行った。
 - ・ 意向調査を実施したエリアの林道や作業道の補修や草刈り等を行った。

□ 事業内容

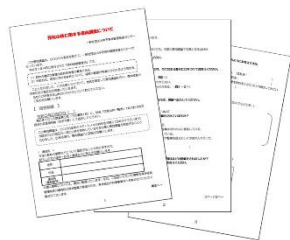
1 森林所有者への意向調査の実施及び経営管理権集積計画の策定

- ・ 市内のスギやヒノキの人工林の森林所有者に対し意向調査を実施。
その結果を基に現地踏査を行い、
経営管理権集積計画を策定した。

【事業費】12,320千円（全額譲与税）

【実績】意向調査面積 530ha

【実績】現地踏査実施面積 356ha



（事業1：意向調査票）

2 林道等補修業務の実施

- ・ 意向調査実施エリアにある林道等の補修や草刈り等を実施した。

【事業費】4,620千円（全額譲与税）

【実績】実施延長 7,743m

3 環境林整備事業の実施

- ・ 手入れされていない人工林の間伐を実施。

【事業費】38,080千円（全額譲与税）

【実績】間伐面積 43ha



（事業3：環境林整備）

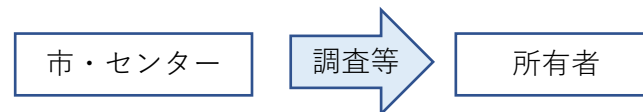
4 中予森林管理推進センターの運営

- ・ 3市1町で設立したセンターで森林経営管理制度を推進した。

【事業費】11,501千円（全額譲与税）

□ 事業スキーム

1 意向調査の実施・集積計画の策定



1 現地踏査



2,3 林道等補修業務、環境林整備事業の実施



□ 工夫・留意した点

- ・ 中予森林管理推進センターと連携し、意向調査や経営管理権集積計画の策定を実施した。
- ・ 制度による森林整備が始まるまでにも、森林の持つ多面的機能をより高度に発揮させるため、手入れされていない人工林の間伐を実施した。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：94,010千円		②私有林人工林面積(※1)：7,863ha	
③林野率(※1)：44%	④人口(※2)：511,192人		⑤林業就業者数(※2)：149人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より